

74年秋には宮城球場でリーグ優勝を決めた。しかし、中日との日本シリーズは本拠地に後楽園球場(東京)

1974年には宮城球場での初のホームゲームは73年5月で、ナイターだった。氏家さんは「今東北楽天につながる近鉄に13-10で勝った。当日の気温は11度。観客は3万3000人とされる。寒い中、本当にそんなにいたのか」と冗談を交えながら振り返った。

ロッテは1972年の東京スタジアム閉鎖に伴い、県営球場を73年に準本拠地、74~77年に本拠地とした。氏家さんは仙台ゆかりのチームを深く知ろうと、新聞や文献の調査、関係者への聞き取りを各地で重ねている。



当時の交通事情を交えながら、ロッテが仙台に定着しなかった背景を解説する氏家さん

## プロ野球準本拠地時代

# 仙台大教授が回顧講座

ロッテは1972年の東京スタジアム閉鎖に伴い、県営球場を73年に準本拠地、74~77年に本拠地とした。氏家さんは仙台ゆかりのチームを深く知ろうと、新聞や文献の調査、関係者への聞き取りを各地で重ねている。

仙台で優勝パレードは行わなかった。

仙台で優勝パレードは行わなかった。

そんなロッテも、仙台でパレードを実施したことがあつた。氏家さんは「実は

仙台市にかつて本拠地を置いたプロ野球ロッテオリオンズ(現千葉ロッテマリーンズ)を回顧する公開講座が、同市青葉区の仙台大川平キャンパスであった。ファン歴50年超の同大健康福祉学科の氏家靖浩教授(59)が当時のエピソードを楽しく紹介した。

# ロッテ実は仙台でパレードしていた

73年のホーム初戦の前日にパレードをした。市中心部の商店街を選手たちが進み、(当時の)金田正一監督が市民から握手攻めにあ

った」と明かした。

金田監督が球場近くの中華食堂をひいきにしていた話や、選手の食事をJR仙台駅近くの老舗そば店が担

つたことも披露した。

仙台大の公開講座は20日についた。スポーツや健康講無料で事前の申し込みが必要。同大のウェブサイトにある専用フォームから申する。定員は各回30人。受講者無料で事前の申し込みが必要。同大のウェブサイトにある専用フォームから申する。定員は各回30人。受講者無料で事前の申し込みが必要。同大のウェブサイトにある専用フォームから申する。定員は各回30人。受

講無料で事前の申し込みが必要。同大のウェブサイトにある専用フォームから申する。定員は各回30人。受講者無料で事前の申し込みが必要。同大のウェブサイトにある専用フォームから申する。定員は各回30人。受

(田柳暁)